

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業
（免疫アレルギー疾患等政策研究事業（移植医療基盤整備研究分野）））
分担研究報告書

小児の終末期医療の実践に関する研究

研究分担者 多田羅竜平 大阪市立総合医療センター緩和医療科部長

研究要旨：

小児医療従事者を対象とした小児緩和ケア教育プログラムを実施してきた経験を基に、脳死臓器移植のドナー家族と関わる医療者向けの教育プログラムの構築を検討する。

A. 研究目的

小児医療従事者を対象とした小児緩和ケア教育プログラムを実施してきた経験を基に、脳死臓器移植のドナー家族と関わる医療者向けの教育プログラムの構築を検討する。

B. 研究方法

自院で脳死臓器移植のコーディネーター行う医療スタッフを対象に、現状における課題、教育プログラムのニーズについて聞き取り調査を行った。

続いて、これまで10年近く続けてきた小児医療従事者向けの小児緩和ケア教育プログラムの実践を基に、脳死臓器移植のドナー家族と関わる医療者向けの教育プログラムの在り方を考察した。

（倫理面への配慮）

特に倫理面での配慮を必要とする研究は行っていない。

C. 研究結果

聞き取り調査を通じて、脳死臓器移植のドナー家族に関わるコーディネーター不足、ドナー家族へのサポート体制が不十分なこと、脳死臓器移植に関わる多職種に対する普及啓発、教育の取り組みの必要性が浮かび上がった。

D. 考察

小児緩和ケア教育プログラムは全人的なケアを実践するための入門的なプログラムであり、モジュールの内容は多岐にわたるが、なかでも難しい場面におけるコミュニケーション・スキルの上達、全人的な家族ケアの実践的理解の向上、倫理的感性の涵養においてこれまで培った教育プログラムでの経験が生かされうると考えられた。

E. 結論

小児緩和ケア教育プログラムは脳死臓器移植のドナー家族と関わる医療者に対する教育プログラムを構築する上で様々な点で参考になりうると思われ、今後さらに内容を吟味していくことが望まれる。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
なし

2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし